

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	令和3年2月17日 午後7時00分から午後8時19分まで
3 会場	武石地域自治センター2階 第1会議室
4 出席者	池内俊郎会長、金子るり子副会長、池内万雄委員、金井修一委員、金井律子委員、小林明美委員、小山和博委員、桜井敏雄委員、城下昌史委員、鈴木三千夫委員、橋詰明德委員、樋沢茂委員、宮下覚委員、依田せつ子委員【欠席委員6名】
5 市側出席者	大平地域自治センター長、滝沢地域振興課長、樋口教育事務所長、小山市民サービス課長、佐藤産業建設課長、宮下商工観光担当係長、芳池丸子・武石上下水道課長、坂部地域政策担当係長、鈴木地域担当、増田主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年2月 日
協 議 事 項 等	

1 開 会 (金子副会長)
2 あいさつ (池内会長)
3 報告・協議事項
(1) 個別施設計画について
《武石診療所・武石地区特定目的賃貸住宅》【市民サービス課説明】
国が進めるインフラ長寿命化計画による、上田市公共施設マネジメント基本方針に基づいた説明
【質問・意見等】
(委員) 耐用年数を超えて必要性や有効性のない施設（片羽団地・上鳥居団地・荒神前団地）が廃止ということは、今住んでいる方たちの代替施設はあるのか。
(市) 入居者がいる間は、取壊しはせずに修繕をしていく。建て替えはない。 取壊しの対象となる施設は新たに入居者の募集はせず、凍結する。 現在、一戸2階建ての上鳥居団地2号棟は、募集を停止しており、壁が剥がれ落ち危険な状況なので、来年度（令和3年度）に解体する予定。
(委員) 住宅施設計画や診療所施設計画は、とてもコンパクトで分かりやすく説明されている。 その中で、施設評価とあり、安全性・必要性・有効性・効率性とあり、A・B・C・Dとあるが、例えば必要性がAとなっているが、誰が必要としているのか。住民なのか。評価の根拠は何か。 また、「A. 全体的に健全である。」と表記されているがこの健全の意味を教えてください。
(市) 項目ごとに点数化をして評価するもので、誰のための必要性というものではなく、社会インフラとしての要素観点で評価している。 「健全である」の意味はそれぞれの項目に当てはめての評価で「安全性」＝安全である 「必要性」＝必要である 「有効性」＝有効に機能している 「効率性」＝効率が高い と、理解願いたい。
(委員) 特定目的賃貸住宅について、上田市としては周辺部の人口減少が進む中で、施設の建て替えは今後やっていかないとことか。
(市) 他の住宅の老朽化や利用、空き状況、市営住宅への入居などを勘案しながら進めていく。
(委員) 入居資格に「農林業などに意欲があり地域に溶け込み、地域づくりへの関心が高い者」とあるが、武石地域では必ずしもこの入居資格に沿った運営はやってはいないと思うがどうか。

- (市) 市としては優先的に行っている。実際に農業に意欲のある人を入居させている。今後も入居資格を踏まえて行っていく。実際には空きもあるので入居希望者には入っていただきたい。
- (委員) この地域でも、集落内に空き家が増えてきている。所有者の考えもあると思うが、これらを利用できないか。
- (市) 市の他部所と民間でも空き家対策事業を進めている。
- (委員) 他の市町村では、若い人が入居し他に家を求め永住している事例があるが、中古住宅だと特に若い人は虫が入ることを嫌い、また、田舎住宅の生活様式が合わなく苦勞するなど、設備に神経質だと感じる。空き家に入居した場合に、生活改善のための改修費も考えてほしい。
- (センター長) 市では空き家対策事業を積極的に進めており、リフォーム補助制度を検討している。しかし、貸すことや、手放すことをためらう所有者の考えがあり、難しく思うように進んではいない状況にある。武石地域の空き家の情報は市のホームページに載っているのを見てほしいし、皆さんからも空き家に関する情報を自治センターへ伝えてほしい。
- (委員) 特定目的賃貸住宅への入居条件で、意欲ある者とはどの程度か。意欲を持って移住する人もいれば、住んでから意欲を持つ人もいると思う。また、需要と供給のバランスかと思うがどうか。
- (空き家対策に詳しい委員) 受け入れ側の体制が整っていれば入居者はいると思う。生活できない家だけあっても進まない。
- (委員) 受け入れる住宅を先に整備しておくのか、意欲ある移住者を先にするのかの問題があり、その辺のバランスが難しいが、武石地域の活力向上も念頭に置いて進めることを希望する。
- (空き家対策に詳しい委員) 農業希望者について考えた時、今の武石地域の農業従事者の状況は年々減少にあり、後継者もないことから耕作放棄地が増えるだろう。担い手不足解消も大きな課題だ。
- (会長) 住宅の確保だけでなく、農林業など地域全体の課題・地域振興施策として一体的に考えていくべきことだと思う。どっちが先かではなく、今の私たち住民が住みやすい環境を作っていくことが必要だ。
- この件に関しては、市からの報告事項の説明ということで、今後の進捗や変更等があれば随時情報の提供をお願いする。

(2) 岳の湯温泉雲溪荘のあり方について【産業建設課】

(会長) 配布された資料により今までの検討・対策の経緯・現状等を説明

【質問・意見等】

(会長) コロナ関連による県の支え合い事業で、宿泊者に対する補助制度等についての情報は。

(市) 雲溪荘も補助対象施設として、県民を対象に3月31日まで宿泊費に対する割引を実施する。宿泊者に対する家族単位等の限定はあるが、雲溪荘は一名1万円で宿泊できるので、3千円を県が補助するとのことである。

(会長) 資料を見る限り、指定管理者として支出を抑え売り上げを図る努力をされていて、我々にできることは積極的にバックアップしていく。

また、県の元気づくり支援事業制度を活用して、露天風呂を作ろうというグループが発足したと聞く。実行に向けての課題は多いと思われるが、活性化につながる活動だと感じる。

地域協議会の立場として参加することはできないが、主旨に賛同する個別の参加は関知しない。協議会への審議依頼があれば真摯に対応していく。

第2回目の住民アンケートが予定されている。今後3年間は継続が担保されているが、それ以降が存続か廃止か大きな課題であり、住民アンケートの結果を基に地域協議会で来年度中に検討・議論して、一定の方向性を出さなければならない。

(委員) 雲溪荘は市の施設だが住民の財産でもあり、今後予定されている住民アンケートについて、質問項目により結果が変わるので、住民が関心を持つような質問内容にするべきと思う。また、利用促進に向けた第2回目の広告を期待したい。また、個人としても利用していきたい。

(会長) 無理をしない程度で協力し、雲溪荘だけでなく地域の施設全体をバックアップしていきましょう。

(委員) 雲溪荘の活性化グループについては、前回の広告を見た武石地域外の人から武石地域内の住民に声がかかり発足した経緯から見ると、「雲溪荘のあり方」について何らかの効果があるのかなと感じる。

(会長) 名前は申し上げられないが、私もそのように聞く。

(委員) 武石は松茸の産地なのでもっとアピールして集客を図る策も一案かと思うが。

(会長) 各施設では、季節に対応したプラン(商品)で集客を図っている。地域協議会でも色々な案を出してほしい。

(3) その他

①第8回地域協議会の日程について

日時：令和3年3月17日(水) 午後7時から 場所：武石地域自治センター 第1会議室

②センター長から報告

- ・3月議会の内容について
- ・コロナ感染予防対策について ワクチン接種予定他
- ・新総合センター開所について

4 閉 会 (金子副会長)